

12月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

128,001円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	26,250円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	13,890円
会場費	600円
通信費(携帯代、折込代、郵便代)	87,261円
支出計 09/12/1~10/1/6	128,001円
寄付 S、T、Y、Mさん	24,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
10/1/7

第106号

15500部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠 (市議会議員)
武松政策研究会

広域斎場計画!?

現斎場の隣接地に2013年度供用開始予定!?

■2006年度に2市5町で協議会を設置

現在の市斎場は1971年に建設されたもので、供用開始から38年が経過し老朽化が進んでいます。

また、今後の火葬件数の増加に対応ができなくなるなどの課題を抱えています。周辺市町の住民にも広く利用されていることから、県西地域の広域施設として建て替える方向で検討を開始し、2006年度からは、特に利用の多い2市5町(小田原市、南足柄市、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町)により**県西地域広域斎場建設協議会**を設立しました。

■現斎場の使用料金及び利用状況

以下に現在の使用料金及び利用状況を示します。
市外利用者と料金が異なることや市外の利用が43%もある広域施設であることがわかります。

市外居住者と南足柄市の料金の違いは、現斎場が南足柄市と市境にあるためです。

表1 斎場使用料金(円)

区分		大人	小人	臓器等
市内 居住者	火葬室	0	0	0
	遺体安置室	8,000	8,000	8,000
市外 居住者	火葬室	38,000	19,000	6,000
	遺体安置室	8,000	8,000	8,000
南足柄市 居住者	火葬室	27,000	14,000	5,000
	遺体安置室	8,000	8,000	8,000

小人は、12歳未満・死胎児

表2 2008年度斎場利用状況(件)

区分	大人	小人	臓器等	遺体安置室	合計
市内	1,792	41	21	0	1,854
市外	1,361	37	7	2	1,407
合計	3,153	78	28	2	3,261

■候補地区域の選定と事業手法が決定

協議の結果、09年1月に、建設候補地の区域の選定と、事業手法が決定しました。

新たな斎場は、現在の斎場とその北側に隣接する南足柄市三竹地区の土地を合わせた約4万7千㎡の敷地に建設する計画となっています。三竹地区の土地に新たな斎場を建て、完成後は現在の斎場を解体し、その敷地を駐車場として一体的に活用する予定です。

事業手法については、民間の資金を活用して社会資本を整備し、官民の役割分担を事前に取り決め、公共施設の建築や維持管理を民間企業に任せ、その経営手法を利用して効率的に良質な公共サービスを提供してもらう*PFI手法を導入します。

今後、新たな斎場に求められる機能や水準などを検討し、民間企業からの提案を受けてPFI事業者を選定していく予定です。*Private Finance Initiative

■新斎場の基本コンセプト・施設概要(09年1月時点) 基本コンセプト

- ・周辺環境や立地特性に配慮した施設
- ・斎場として機能的な施設
- ・利用者の心情に配慮した施設
- ・地域の火葬風習に沿った施設
- ・社会的要請に配慮した施設

炉数 火葬炉 10炉
諸室 告別室、収骨室、待合室ほか
(式場、動物炉は非設置の予定)
駐車場 乗用車110台程度、バス20台程度

■スケジュール(09年1月時点)

2010年度 募集要項等の公表・募集・事業者選定
2011年度 設計・施工着手
2013年度 供用開始(運営期間20年)

現在は、用地交渉や、PFI仕様発注のベースとなる事業概要を詰めています。各自治体とも財政状況が厳しく、当初の想定規模を大幅に見直し、適正な規模と内容にまとめている所です。

新型インフルエンザワクチン接種

最新の優先接種対象者と接種開始時期をお知らせします。※スケジュールは、変更される場合があります。

年齢や学年が接種可能時期になったら、まず、かかりつけ医に電話で確認をして下さい。かかりつけ医が無い場合は、小田原医師会医療連携室（47-0833）にご相談ください。

※小中高生は09年度の学年。小中高生以外は接種時の年齢

医療従事者※救急隊員を含む：10月22日～

基礎疾患を有する方（最優先）：11月16日～

※基礎疾患を有する方に該当されるかどうかは、かかりつけ医にご相談ください。

基礎疾患を有する方（最優先）とは、基礎疾患を有する方のうち、1歳から小学校3年生の方及び特に重症化のリスクが高いと医師が判断した方になります。

妊婦：11月16日～ ※接種時点で妊娠している方

なお、基礎疾患を有する方（最優先）のうち、入院されている方は、11月5日から。

基礎疾患を有する方（その他）：12月7日～

※基礎疾患を有する方のうち、最優先以外の方

小児（1歳～小学校3年生）：12月7日～

※基礎疾患のない方

1歳未満の小児の保護者等：12月21日～

※接種時点で0歳児の子どもの保護者が対象

優先接種対象者のうち、身体上の理由により予防接種が受けられない方の保護者等を含みます。

小学校4～6年生：12月21日～

※基礎疾患のない方

中学生に相当する年齢の方：1月8日～

（中学3年生のみ12月21日～）

高校生に相当する年齢の方：1月8日～

（高校3年生のみ12月21日～）

高齢者（65歳以上）の方：1月後半

上記以外の19歳から64歳の健康な方々への接種については、優先接種対象者の接種状況を踏まえ、対応していきます。

接種費用

1回目：3,600円 2回目：2,550円

1回目と異なる医療機関で接種する場合：3,600円

**油断は禁物！ うがい手洗いの励行
第二波の流行に備えましょう。**

The Voice これまでに頂いたご意見から

加藤市長のマニフェストと現状を精査してもらえますか？

城下町ホール、駅前再開発、地下街、加藤市長は全てを再検討すると掲げて当選しました。経済状況もありますが、再検討がすべてうまくいっているとは感じられません。当選から2年が経とうとしています。議会で当初の計画との差、進捗状況など精査してもらえないでしょうか。

市長当選後の経済状況の急激な悪化を考えるとやむを得ない部分もあります。一方、市の税収減については、合併検討の財政推計とほとんど変わらず想定内ともいえます。しかし、これまでの大型事業を止める事ができたのは、加藤市長が誕生したからだといえると思います。

まず、ホールについては、マニフェストの駅前ホール案を撤回し、（仮称）城下町ホール建設予定地に建設することまでは良かったのですが、**用地拡張や現市民会館の耐震補強など、どんどん拡大**しています。このような経済状況ですから、議会内でも、この際市民ホールは当面延期し、市民会館をリニューアルした方がいいという声も増えてきました。

再開発は、庁内で検討が進められていますが、視察した山口県防府市の例では再開発に公共施設を入れたら運営経費が、倍以上になった例を見てきました。**改めて詳細な検討が必要**と考えています。

地下街も未だに検討中で、**耐震診断等徐々に進んでいます**が、結果如何ではどうなるかわかりません。ただし、様々な検討結果が具体化する今年度が重要な時期になりますので注視してして下さい。

月例勉強会のお知らせ

1月の勉強会は

日時：1/23(土)18時～20時

場所：市民学習フロア 学習室B 駅前ビルドラッグストア奥のイベントで4階

テーマ：「**広域斎場について**」

参加費：100円 終了後、実費で懇親会を行います。 i-mode HP →



HPは、**YAHOO!**で「たけまつただし」 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松は**本人が配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**